2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー 学科
SM／AT・MT 専攻

授業科目 (科目ID)	スポーツマッサージ 19t310		担当教員 (実務経験)	高田 健介 有 ☒ 無 ☐ 鍼灸師		
対象年次・学期	3年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位	
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	スポーツの現場における安心・安全の知識とケア技術を実技を通して学びましょう					
到達目標	体表解剖を理解し、安全に人の身体に触る事ができる。					
テキスト・ 参考図書等	実技テストは、人の身体安全に扱える扱えるか、目的の筋肉を動かせるか。 その他は、受講態度や出席率などの平常点。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	40%				
履修上の 留意事項	トレーナーズルームを使用し、毎週各部位を変えながら実技講習を行う。 生徒同士でお互いに身体を借りて、体表解剖の知識を学びながら気持ち良く普段の疲れも癒し体験しながら楽しい授業にしましょう。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション	手技の説明、適応、禁忌など			
	2	下肢(下腿三頭筋)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	3	下肢(足底)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	4	下肢(ハムストリングス)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	5	下肢(大腿四頭筋)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	6	腰・背中・臀部(臀部)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	7	腰・背中・臀部(腰)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	8	腰・背中・臀部(背中)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	9	頸・肩・腕(肩・肩甲骨)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	10	頸・肩・腕(頸・頭)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	11	頸・肩・腕(上腕・前腕・手)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	12	頸・肩・腕(仰臥位の頸・肩)	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点			
	13	テスト対策	復習			
	14	実技テスト	個別実技テスト			
15	その他マッサージ+実技テスト予備日	筋肉の動かし方・圧のかけ方・注意点				

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー 学科
SM/AT/MT 専攻

授業科目 (科目ID)	テーピングテクニックⅡ 19t311		担当教員 (実務経験)	濱田 光・千保 大聖 有 ☐ 無 ☒	
対象年次・学期	3年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	基本的な機能解剖学およびスポーツ外傷学の知識をベースとした各部位におけるテーピング技術を学ぶ。				
到達目標	トレーナー、スポーツ指導者として、正確で、素早い、機能的なテーピングを行うことができる。				
テキスト・ 参考図書等	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥「予防とコンディショニング」 身体運動の機能解剖				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	実技試験の結果およびその他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	40%			
履修上の 留意事項	デモンストレーション後、各人に実技練習をしてもらいます。テーピング部位に関する解剖学、運動学、外傷学の知識習得も同時に行う。①実技試験は授業にて実施、②テーピングを行う部位により、Tシャツ、ハーフパンツ着用の指示あり、トレーナー、スポーツ指導者にとってテーピングテクニックは、絶対に身につけなければならない手技の一つです。何度も反復練習し自身のバリエーションを増やしましょう。皆さんの積極的な取組を期待しています。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス／テーピング総論	講義の説明、その他／テーピング実施時の注意事項		
	2	足部	足底腱膜炎のテーピング①		
	3	足部	足底腱膜炎のテーピング②		
	4	足関節	母趾過伸展捻挫、種子骨障害、踵部挫傷のテーピング		
	5	足関節	足関節内返し捻挫のテーピング①		
	6	足関節	足関節内返し捻挫のテーピング②		
	7	足関節	足関節外返し捻挫、応急処置のテーピング		
	8	足関節	有痛性三角骨、距骨後突起障害、前脛骨筋腱炎、前脛腓靭帯損傷のテーピング		
	9	足関節	フットボールアングル、アキレス腱炎、前脛腓靭帯損傷のテーピング		
	10	足関節	アキレス腱炎、アキレス腱周囲炎、アキレス腱部滑液包炎のテーピング		
	11	下腿部	下腿三頭筋肉ばなれ、シンスプリントのテーピング		
	12	前期実技試験			
	13	前期実技試験			
	14	前期実技試験			
	15	前期実技試験			
	16	膝関節	膝関節内側側副靭帯損傷のテーピング		
17	膝関節	膝関節外側側副靭帯損傷のテーピング			

18	膝関節	膝関節前十字靭帯損傷のテーピング
19	大腿部	大腿部打撲・肉ばなれのテーピング
20	股関節	股関節内転筋損傷・腸腰筋損傷のテーピング
21	腰部・胸部	腰部筋筋膜症、腰部捻挫、腸骨稜打撲、肋軟関節分離のテーピング
22	肩関節	肩鎖関節捻挫のテーピング
23	肩関節	肩関節反復性前方脱臼のテーピング
24	肘関節	肘関節内側側副靭帯損傷のテーピング
25	肘関節	肘関節過伸展捻挫のテーピング
26	手関節	手関節捻挫、指捻挫のテーピング
27	後期実技試験	
28	後期実技試験	
29	後期実技試験	
30	後期実技試験	

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー 学科
SMIV／AT・MTⅢ 専攻

授業科目 (科目ID)	テーピングテクニックⅢ 19t312／19t408		担当教員 (実務経験)	土岐 政義 有 ☒ 無 ☐ アスレティックトレーナー	
対象年次・学期	4年／3年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	競技特性に応じて求められる頻度の高い部位別・障害別テーピング法の習得を目的・目標とする。また、ATテキストの復習も兼ねる。(足部、足・膝・肘関節を主に復習)				
到達目標	スポーツ外傷・障害に対するテーピング(キネシオロジーテーピングを使用)が実施出来る。				
テキスト・参考図書等	部活ですぐ使える！基本のスポーツテーピング				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	実技試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	40%			
履修上の留意事項	特になし。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション／復習	授業内容説明、諸注意、その他／前年度までの復習		
	2	テーピングの復習①	非伸縮テープを用いての復習(足部・足関節)		
	3	テーピングの復習②	非伸縮テープを用いての復習(足部・足関節)		
	4	総論	スポーツとテーピング、特徴・効果・使い方の基本		
	5	足部・下肢のキネシオテーピング	①足関節捻挫 ②アキレス腱炎		
	6	足部・下肢のキネシオテーピング	前回の復習、③シンスプリント ④下腿部肉離れ		
	7	足部・下肢のキネシオテーピング	前回の復習、⑤足底筋膜炎 ⑥オスグッド・シュラッター病		
	8	下肢・腰部のキネシオテーピング	前回の復習、⑦ハムストリングス肉離れ(再発予防2種類)		
	9	下肢・腰部のキネシオテーピング	前回の復習、⑧腰部の痛み(3種類)		
	10	前期復習①・試験対策	①～③の復習		
	11	前期復習②・試験対策	④～⑥の復習		
	12	前期復習③・試験対策	⑦・⑧の復習		
	13	実技試験	実技試験①		
	14	実技試験	実技試験②		
15	実技試験	実技試験③			

16	復習	前期の復習
17	テーピングの復習③	非伸縮テープを用いての復習(肘・膝関節)
18	テーピングの復習④	非伸縮テープを用いての復習(肘・膝関節)
19	下肢のキネシオテーピング	⑨内側副靭帯損傷 ⑩半月板損傷
20	下肢のキネシオテーピング	前回の復習、⑪腸脛靭帯炎 ⑫前十字靭帯損傷
21	下肢のキネシオテーピング	前回の復習、⑬ジャンパーズニー ⑭内側上顆炎(2種類)
22	肩・上肢のキネシオテーピング	前回の復習、⑮外側上顆炎(2種類) ⑯腱板炎
23	テーピングの併用	非伸縮テープとキネシオテーピングの併用の実践(上肢)
24	テーピングの併用	非伸縮テープとキネシオテーピングの併用の実践(下肢)
25	後期復習①・試験対策	⑨・⑩の復習
26	後期復習②・試験対策	⑪～⑬の復習
27	後期復習③・試験対策	⑭～⑯の復習
28	実技試験	実技試験①
29	実技試験	実技試験②
30	実技試験	実技試験③

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来/スポーツトレーナー 学科
SM/AT・MT 専攻

授業科目 (科目ID)	スポーツスキル 19t313	担当教員 (実務経験)	喜多 奎介 有 ☒ 無 ☐ スポーツ指導員		
対象年次・学期	3年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	指導に関する留意点を学ぶ。各運動種目の特性を学ぶ。				
到達目標	安全面に配慮しながら、自分のアイデア、工夫を生かして運動指導を説明、実演できること。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	30%			
履修上の 留意事項	体育館にて授業を行います。怪我や体調不良、忘れ物等で授業に参加できない場合はレポートを作成し提出してもらいます。(授業時間内:400字×2枚)、積極的に授業に参加しましょう。 用意:運動に適した服装・着替え・上靴、禁止事項:体育館内は飲食不可。携帯電話の持ち込み不可。アクセサリー禁止。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス	授業の説明		
	2	種目1~7のスポーツにおける ①運動指導、及び安全管理 ②運動指導における留意点 【種目】 1. フットサル 2. バスケットボール 3. バドミントン 4. バレーボール 5. ハンドボール 6. ニュースポーツ 7. レクリエーションスポーツ ※種目1~7の実施順を入れ替える場合があります	1. フットサル		
	3		1. フットサル		
	4		2. バスケットボール		
	5		2. バスケットボール		
	6		3. バドミントン		
	7		3. バドミントン		
	8		4. バレーボール		
	9		4. バレーボール		
	10		5. ハンドボール		
	11		5. ハンドボール		
	12		6. ニュースポーツ		
	13		6. ニュースポーツ		
	14		7. レクリエーションスポーツ		
15	7. レクリエーションスポーツ				

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー 学科
SMIV／AT・MTⅢ 専攻

授業科目 (科目ID)	スイミングスキルⅡ 19t314 / 19t409		担当教員 (実務経験)	今井 由美子 有 ☐ 無 ☒	
対象年次・学期	4年／3年・通年	必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	各種泳法の基本技術を向上させ、指導員として模範となる泳ぎを習得する。効率よく泳ぐ方法を習得し、各種泳法のタイムアップを目指すし、潜行・日本泳法等の新しい技術や安全水泳の技術を習得する。水泳指導員の取得を目指す。				
到達目標	泳法を改善することで、より速い個人メドレーを泳ぐ事が出来る。				
テキスト・ 参考図書等	水泳指導教本・プリント				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	試験(実技)の結果、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	プールでの実技中心。必要な時はプリント配布。各種泳法等の技術習得は、様々な指導をする上での自信になりますし、幅広く活用できます。最終目標は個人によって様々ですが、それぞれの目標に向かって頑張りましょう。体調を万全にして授業に臨んでください。水泳指導員を受験する学生は、必ず履修してください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	泳法確認		
	2	能力確認	タイム計測・基本技術確認・安全水泳		
	3	各種泳法スキルアップ	Fr/持久カトレニング/スカリング		
	4	各種泳法スキルアップ	Fr/持久カトレニング/スカリング		
	5	各種泳法スキルアップ	Ba/持久カトレニング/スカリング		
	6	各種泳法スキルアップ	Ba/持久カトレニング/スカリング		
	7	各種泳法スキルアップ	Ba/持久カトレニング/スカリング		
	8	各種泳法スキルアップ	Br/持久カトレニング/スカリング		
	9	各種泳法スキルアップ	Br/持久カトレニング/スカリング		
	10	各種泳法スキルアップ	Fly/スピードトレニング/潜行/横泳ぎ		
	11	各種泳法スキルアップ	Fly/スピードトレニング/潜行/横泳ぎ		
	12	各種泳法スキルアップ	IMターン/スピードトレニング/潜行/横泳ぎ		
	13	各種泳法スキルアップ	IMターン/スピードトレニング/潜行/横泳ぎ		
	14	各種泳法スキルアップ	IMターン/スピードトレニング/潜行/横泳ぎ		
15	前期末試験	個人メドレータイム測定			

16	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
17	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
18	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
19	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
20	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
21	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
22	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
23	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
24	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
25	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
26	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
27	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
28	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
29	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
30	後期末試験	個人メドレータイム測定

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー／スポーツ健康 学科
SMIV／AT・MTⅢ／SP・PE・SCⅡ 専攻

授業科目 (科目ID)	水泳指導員対策実技 19s219 / 19t315 / 19t410		担当教員 (実務経験)	今井 由美子 有 ☐ 無 ☒		
対象年次・学期	4年／3年／2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	各種泳法の基本技術を向上させ、指導員として模範となる泳ぎを習得する。効率よく泳ぐ方法を習得し、各種泳法のタイムアップを目指すし、潜行・日本泳法等の新しい技術や安全水泳の技術を習得する。水泳指導員の取得を目指す。					
到達目標	泳法を改善することで、より速い個人メドレーを泳ぐ事が出来る。					
テキスト・参考図書等	水泳指導教本・プリント					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	小テスト、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	80%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の留意事項	各種泳法等の技術習得は、様々な指導をする上での自信になりますし、幅広く活用できます。最終目標は個人メドレーのタイムを切る事です。体調を万全にして授業に臨んでください。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	能力確認①	個人メドレータイム計測・基本技術確認・横泳ぎ			
	2	能力確認②	タイム計測・基本技術確認・横泳ぎ			
	3	各種泳法スキルアップ①	Fr/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	4	各種泳法スキルアップ②	Ba/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	5	各種泳法スキルアップ③	Br/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	6	各種泳法スキルアップ④	Fly/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	7	各種泳法スキルアップ⑤	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	8	各種泳法スキルアップ⑥	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	9	各種泳法スキルアップ⑦	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	10	各種泳法スキルアップ⑧	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	11	各種泳法スキルアップ⑨	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	12	各種泳法スキルアップ⑩	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	13	タイム測定	個人メドレータイム測定			
	14	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
15	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み				

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー／スポーツ健康 学科
SMIV／AT・MTⅢ／SP・PE・SCⅡ 専攻

授業科目 (科目ID)	エアロビック指導員対策実技 19t411 / 19t316 / 19s218		担当教員 (実務経験)	大嶋 春香 有 ☒ 無 ☐ スタジオインストラクター		
	対象年次・学期	4年／3年／2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	エアロビック指導員取得に向け、実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。					
到達目標	実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。					
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	小テストは実技試験、指導実習試験を実際に行い、 その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	80%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	基礎をしっかり覚え、身に付け指導できるようにする。まずは自身が楽しんで学ぶこと					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	実技試験対策①	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	2	実技試験対策②	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	3	実技試験対策③	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	4	実技試験対策④	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	5	実技試験対策⑤	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	6	実技模擬試験①	実技試験			
	7	実技模擬試験②	実技試験			
	8	指導実習試験対策①	エアロビック技能検定5級Dパート			
	9	指導実習試験対策②	エアロビック技能検定5級Dパート			
	10	指導実習試験対策③	指導実習			
	11	指導実習試験対策④	指導実習			
	12	指導実習試験対策⑤	指導実習			
	13	指導実習模擬試験①	指導実習試験			
	14	指導実習模擬試験②	指導実習試験			
15	指導実習模擬試験③	指導実習試験				

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー 学科
SM／AT・MT 専攻

授業科目 (科目ID)	スキー・スノーボード宿泊研修Ⅲ 19t317	担当教員 (実務経験)	田口 清輝 有 ☒ 無 ☐ トレーニング指導者		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	スキー・スノーボードにおける、基礎技術・知識の習得と向上を目指す。 スキー・スノーボード検定受験により、資格取得を目指す。				
到達目標	冬山における、怪我の予防、ゲレンデマナー及びリスクマネジメントを理解し、指導者としての資質を身に付ける。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート・提出物等の状況を総合的に評価する その他は受講姿勢等で評価する		
	レポート	10%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
	その他	80%			
履修上の 留意事項	宿泊研修という決まりの中で、自己管理、時間管理を徹底して行う事。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	事前説明会	目的、注意事項伝達		
	2	1日目午後レッスン開始	各班に分かれ道具の特性・理論等を学ぶ		
	3	1日目ミーティング	1日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	4	1日目ナイター練習	1日目に学んだことを復習する。		
	5	2日目午前レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ		
	6	2日目午後レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ		
	7	2日目ミーティング	2日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	8	2日目ナイター練習	2日目に学んだことを復習する。		
	9	3日目午前レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ		
	10	3日目午後レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ		
	11	3日目ミーティング	3日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	12	3日目ナイター練習	3日目に学んだことを復習する。		
	13	4日目午前レッスン開始	各班に分かれ、検定へ向けてレッスンをする		
	14	4日目検定	今まで学んだことを踏まえて検定に臨む		
15	4日目ミーティング	4日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する			

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー／スポーツ健康 学科
SMⅢ／AT・MTⅢ／SP・PE・SCⅠ 専攻

授業科目 (科目ID)	ビジネススキル 19t318		担当教員 (実務経験)	高橋 真大 有 ☒ 無 ☐ スイミングインストラクター	
対象年次・学期	3年・前期 1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	就職活動の開始に先立って、社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識やビジネスマナーの理解を目的とする。就職後を見据え、社内外で信頼を得、円滑により良い人間関係を構築するために必要となる初歩的なビジネス技能を学ぶ。				
到達目標	学習の成果として「社会人常識マナー検定」を受験し合格が目標となるが、検定を合格するだけが最終目標ではなく、その先として社会に通用する人になること。				
テキスト・参考図書等	教科書(社会人常識マナー検定テキスト2・3級)、プリント配布				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	社会人常識マナー検定の可否と、授業内の姿勢(授業態度、過去問など)を評価の対象とする。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の留意事項	板書形式の授業を通し上記の知識を高めていく。必要に応じプリント教材などを使用する。、この授業を通し、一人の社会人として必要な心構えを身に付け、ビジネス社会へはばたくための準備をしてください。ここで身に付けたスキルは学校生活においても即実践可能なものも多いため、有効に活用すればより充実した学校生活につながるでしょう。最終的な目標は「社会人常識マナー検定」合格です。資格取得をめざし、頑張りましょう。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	社会常識	社会と組織		
	2		仕事と成果		
	3		一般知識① 政治経済の基礎用語／漢字の読み書き／カタカナ用語		
	4		一般知識② 各都道府県／欧文略語／世界の国名と首都		
	5		ビジネス計算		
	6	コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション／敬語		
	7		ビジネス文書の活用		
	8	ビジネスマナー	職場のマナー／来客対応／電話対応		
	9		交際業務		
	10		文書類の受け取りと発想／会議／発送		
	11	検定対策	過去問 問題練習／解答解説		
	12				
	13				
	14				
15					

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー／スポーツ健康 学科
SMⅢ／AT・MTⅢ／SP・PE・SCⅡ 専攻

授業科目 (科目ID)	情報基礎 19t319 / 19s222		担当教員 (実務経験)	石井 克 有 ☒ 無 ☐ フリーライター	
対象年次・学期	3年／2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	PC操作方法と「情報」の扱い方を学び、ビジネス場面において必要とされる知識と技法を修得する。				
到達目標	資料作成およびデータの整理・活用にむけて、Word、Excelの基本操作ができるようになる。				
テキスト・ 参考図書等	【テキスト】 実教出版企画開発部編(2016)『30時間でマスター Windows10対応 Word & Excel 2016』, 実教出版				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	評価は、試験点(50%)、提出物(30%)、その他(20%)の計100%とする。 ・試験点は、前期および後期に実施する実技試験の成績 ・提出物は、毎回の授業における課題の提出(計30回×1点) ・その他は、提出課題の理解度、授業に取り組む姿勢等を総合的に評価した担当所見とする。		
	レポート	0%			
	小テスト	0%			
	提出物	30%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	学生の理解度により進捗状況を柔軟に変更する場合があります。自らのスキルアップを目指して、授業を有効に活用してください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	講義の進め方・試験等の説明		
	2	Windows10の基礎	Windowsの基本操作		
	3	Wordの基本操作①	文字入力・印刷・保存		
	4	Wordの基本操作②	基本操作とタイピング練習①(400字)		
	5	Wordの基本操作③	基本操作とタイピング練習②(600字)		
	6	Wordの基本操作④	基本操作とタイピング練習③(800字)		
	7	Wordの活用①	表・グラフの作成		
	8	Wordの活用②	ビジネス文章の作成①(編集機能Ⅰ)		
	9	Wordの活用③	ビジネス文章の作成②(編集機能Ⅱ)		
	10	Wordの活用④	ビジネス文章の作成③(ビジュアル)		
	11	Excelの基本操作①	データ入力の基礎		
	12	Excelの基本操作②	基本的なワークシートの編集		
	13	Excelの基本操作③	ワークシートの書式設定		
	14	Excelの基本操作④	グラフ・表の作成		
15	前期のまとめ	Word・Excelの前期範囲のまとめ			

16	Excelの実践①	関数の適用①(オートSUMボタンの利用)
17	Excelの実践②	関数の適用②(順位付け、四捨五入、判定)
18	Excelの実践③	関数の適用③(条件による集計、表の検索)
19	Excelの実践④	データベース機能
20	Excelの実践⑤	データの集計
21	Excelの活用①	実習問題①
22	Excelの活用②	実習問題②
23	Excelの活用③	実習問題③
24	Word・Excelの応用①	PowerPointとの関連性
25	Word・Excelの応用②	インターネットの活用と情報倫理
26	Word・Excelの応用③	インターネットを利用した情報の活用
27	Word・Excelの応用④	スクリーンショット・PDFファイルの作成
28	Word・Excelの応用⑤	Word・Excelを使用したデータの整理と活用①
29	Word・Excelの応用⑥	Word・Excelを使用したデータの整理と活用②
30	後期のまとめ	Word・Excel後期範囲のまとめ

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナ／スポーツ健康 学科
SMIV／AT・MTⅢ／SP・PE・SCⅡ 専攻

授業科目 (科目ID)	就職実務 19t413 / 19t320 / 19s221	担当教員 (実務経験)	濱田 光 有 ☐ 無 ☒ アスレティックトレーナー		
対象年次・学期	4年／3年／2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	1. 就職決定に向け自分自身を振り返り、客観的視野で自己分析を行う。 2. 就職活動の流れを理解し、円滑な活動へと繋げる。				
到達目標	社会人としての考え方や対応手法を学び、それらを説明・表現することができる。				
テキスト・ 参考図書等	就職サポートテキスト				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートおよび提出課題、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	40%			
履修上の 留意事項	就職実務のテキスト及びプリント等を配布し授業を行う。、ここ数年の新卒就職戦線は売り手市場の傾向にありますが、その反面、雇用形態などの多様化も進み、仕事選びも難しくなっています。まずは自分自身を知り、社会傾向を知って悔いのない就職活動をする為に、客観的に自己評価を行うよう取り組んでください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス	就活スケジュール・就活マナー・心構えなど、就活に向けた基本的な流れを学ぶ		
	2	就活対策(1)	エントリーシート(求職票)の書き方		
	3	就活対策(2)	履歴書の書き方①(練習用紙への記入)		
	4	就活対策(3)	履歴書の書き方②(本用紙への下書き)、線引き→下書き→チェック→本書き 完成品1枚回収		
	5	自己を知る	学生と社会人の違いを把握 自己分析・自己PRの作		
	6	就活対策(1)	求人票のチェック方法および志望動機の作成		
	7	就活対策(2)	PC室にてリクナビ、マイナビの説明、登録作業		
	8	就活対策(3)	企業へのアポイントの取り方、各提出書類の準備方法		
	9	選考試験対策(1)	選考試験の種類と対策		
	10	選考試験対策(2)	面接試験対策(基本動作・身だしなみ・事前準備)		
	11	選考試験対策(3)	面接試験対策(成功例と失敗例、質問内容)		
	12	選考試験対策(4)	面接試験対策(グループディスカッション、集団面接)		
	13	就職に向けて(1)	受験報告書の作成、提出		
	14	就職に向けて(2)	内定礼状の作成		
15	就職に向けて(3)	就職への心構え			

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー 学科
SM／AT・MT 専攻

授業科目 (科目ID)	コミュニケーションⅢ 19t321		担当教員 (実務経験)	高田 涼介／今井 由美子 有 ☐ 無 ☒		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	2単位	
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	社会人として「どうあるべきか？」を理解し、すぐ実践できることを目的とする。					
到達目標	2年次からの積み上げとして、社会人としての在り方を確認し実践できることを目標とする。					
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて、資料を配布する。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)			
	レポート	20%				
	小テスト	%				
	提出物	20%				
	その他	60%				
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	就職活動に向けて①	履歴書の記入方法			
	2	就職活動に向けて②	自己分析 自分の強み、弱さ、今後どのように成長していくか、どのような職業人でありたいか			
	3	就職活動に向けて③	業界研究 進みたい分野における調査			
	4	就職活動に向けて④	就職情報サイトの利用方法			
	5	面接試験に向けて①	心構え、様々な面接試験について			
	6	面接試験に向けて②	入退室、面接試験体験①			
	7	面接試験に向けて③	入退室、面接試験体験②			
	8	一般常識①	漢字(読み・書き)			
	9	一般常識②	丁寧語、敬語			
	10	一般常識③	挨拶、接遇			
	11	一般常識④	マナー、一般常識(応用)			
	12	一般常識⑤	ペア対話、グループ対話			
	13	まとめ①	確認テスト(読み・書き・丁寧語・敬語)			
	14	まとめ②	確認テスト(挨拶・接遇)			
15	まとめ③	確認テスト(マナー・一般常識応用)				

2019年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ未来／スポーツトレーナー 学科
SM／AT・MT 専攻

授業科目 (科目ID)	カレッジイベントⅢ 19t322	担当教員 (実務経験)	高田 涼介／今井 由美子 有 ☐ 無 ☒		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	60%			
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	カレッジイベント内容①	イベントの内容説明		
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	4	イベント実施	スポーツ大会		
	5	振り返り	レポート作成、提出		
	6	カレッジイベント内容②	イベントの内容説明		
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル		
	10	振り返り	レポート作成、提出		
	11	カレッジイベント内容③	イベントの内容説明		
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定		
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者 当日準備		
	14	イベント実施	学園祭		
15	振り返り	レポート作成、提出			